



留学だより No.6

こんにちは、しばらく留学だよりが書けませんでした。これが最後の留学だよりとなります。今これを書いているのが7月2日で、私はいよいよ明日帰国するので、寂しい気持ちも少しありますが、楽しみです。

今回は紹介していなかったので学校生活、南仏旅行について主に書こうと思います。

学校生活

私の学校は、授業が8時から始まり17時に終わります。1時間1コマです。「長っ」と思った人もいるかもしれませんが、安心してください。昼休みが2~3時間あります。フランス人にとって、「食」の時間はすごく大切です。ただ腹を満たせば良いという訳ではなく、食べ物を嗜み、会話も楽しみながら食べるので、それなりに食事には時間をかけます。だいたいみんな cantine（食堂）で食べます。それか、自分の家に帰って家族と食べる人もいますし、友達と街に出てレストランで食べる人もいます。私はほぼ食堂で、2週間に1回くらい友達と街に出て食べていました。友達がアジア料理が大好きで、寿司やカップ麺などを主に食べに行っていました。（寿司といっても本物の握り寿司ではなく、フランス人（もしくは欧米人？）好みに調整されたカリフォルニアロールですが、アボガドやオニオンチップが入っていて美味しかったです）



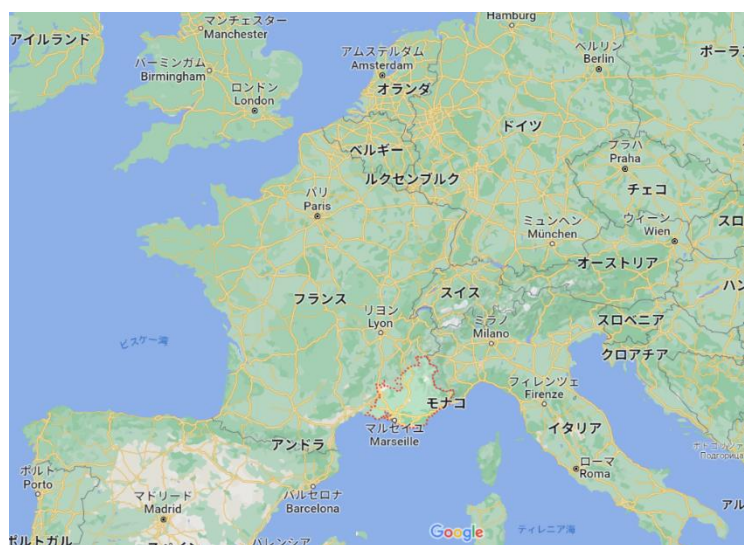
授業は何があるかというと、日本とほぼ同じ教科です。第2外国語が必須で、第3外国語まで任意で取れるところくらいしか変わりはないと思います。第2外国語は、私の学校は、スペイン語、イタリア語、ドイツ語から選べて、中学2年生の時から学んでいたそうなので、結構レベルが高いです。私はスペイン語選択にしていたのですが、当然何もわからなかったもので、先生が第3外国語としての初心者コースに入れてくれました。それからは基礎から習えたのでありがたかったです。

そして、何とんでもフランスには部活がありません。私はそれが恋しかったです。フランスでは、学校はただ勉学のためだけの場所、という認識のようで、日本と比べて人と交流する機会がなく、協調性などが育まれにくいような気がします。加えて、文化祭、体育祭に似たようなものもありません。ここにきて、こういったものは日本独自の素晴らしい文化なのだ、と改めて感じさせられました。

南仏旅行

AFSでは、バカンス中だけホストファミリーを変えられるシステムがあります。なので、私はそれを使って、南仏のとあるファミリーの家に4月に1週間、6月にまた1週間だけホームステイさせてもらいました。南仏は、南東か南西かに因りますが、スペインかイタリアの影響を強く受けているためほかのフランスの地域とは違った風景で、少し違う暮らしをしています。

私は下の地図の赤線で囲っている（モナコの近く）地域に行きました。



アルプスの地域とは違うところが多くて、楽しかったです。ファミリーも優しく、マルセイユ、ニースなどの町観光にも連れて行ってもらいました。次のページに写真を載せておきます。

その前に、



この写真の機械、何かわかりますか？これが道に数十メートルおきに立っていました。

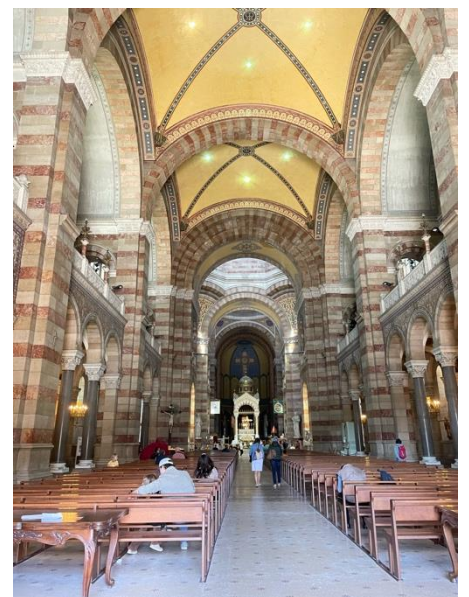
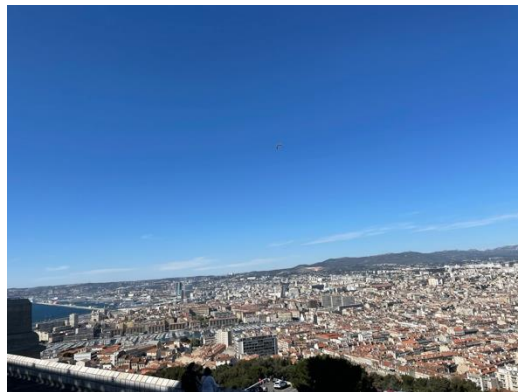
正解は、蚊を吸い取る機械です。南仏では夏になると、蚊が多すぎてこの機械なしでは生きていけないそうです。実際、私が6月に行ったとき、数秒外にいただけで蚊が腕に3匹一斉にきたし、最後には、1週間いただけなのに足を20か所くらい刺されていました。かゆいです。しかも、中にはマラリアを運ぶ蚊もいるそうです。(幸い、流行ってはいません。)

どんな仕組みでこの機械が動いているのかというと、蚊は、汗でもなく血でもなく体臭でもなく、人間の吐息に含まれている二酸化炭素に惹かれて来るらしいので、この機械が二酸化炭素を出して蚊をおびき寄せて、吸い取るらしいです。画期的な道具ですね。日本にもぜひ取り入れてほしいです。

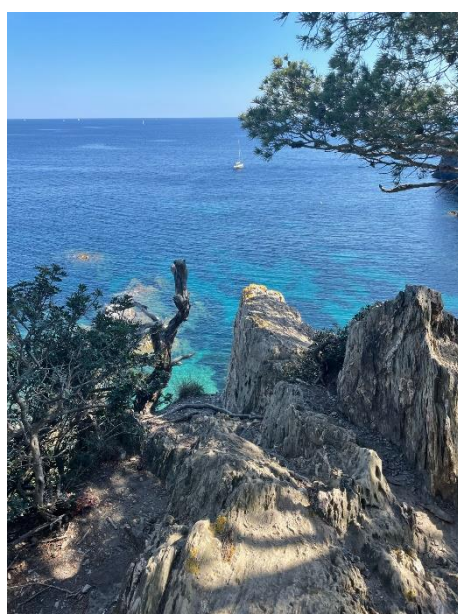
NICE (ニース)



MARSEILLE (マルセイユ)



HYERES (イエール)



この留学で、人から直接教えてもらったことや、自分の目で見て感じながら分かったこと、たくさんの学びがありました。辛いこともあったけれど、それも含めて留学できて良かったです。機会に恵まれて感謝です。ここまで読んでくださり、ありがとうございました。日本でもまた発信し続けます。

Merci de votre lecture !

14期 吉沢